

経済界による国際空港の支援組織の概要

(1) 関西国際空港全体構想促進協議会（関西国際空港）

事業内容	当協議会は、関西国際空港2期事業の円滑な推進及び全体構想の早期実現を図り、もって世界への貢献と関西・我が国の発展に寄与することを目的に、関西の自治体・経済団体などから構成された団体。 現在、2期事業の推進及び全体構想の具体化に向けての調査・研究、地元関係者間の合意形成の促進、並びに関西国際空港に関する要望、広報活動などを展開している。
代表者	(会長) 公益社団法人 関西経済連合会会長 森 詳介
構成団体	87 団体
参加団体	約 200 団体（促進協の趣旨に賛同し、協力をする団体）
設立	1998 年 7 月 28 日
主な活動実績	<p>1. 国に対する要望活動 国際拠点空港としての機能向上を図るため、国等関係機関に対する要望活動を行う。</p> <p>2. 関空集客・利用促進事業 関空のインバウンド受入拠点、貨物ハブ空港としての地位確立に向け、関空会社と連携したインセンティブの効果的な活用により、就航ネットワークの充実強化や旅客・貨物需要の拡大を図るなど、関空の機能強化と直結する事業を戦略的に展開している。</p> <p>【主な活動】</p> <p>(1) 就航ネットワークの充実 (2) 貨物ハブ機能の強化 (3) 観光ハブ機能の強化 (4) アクセス利便性の向上 (5) 東日本大震災からのリカバリー</p> <p>3. 関空エアポートプロモーション 関空への路線誘致など就航促進を目的として、関空会社と連携し、国内外の航空会社をはじめ航空当局、政府観光機関、旅行会社などに対し、関西の自治体や経済界のトップが関空への就航誘致や関西の魅力を発信するエアポートプロモーションを行っている。</p> <p>【平成 22 年度プロモーション派遣先】 韓国（ソウル・釜山）／インドネシア（ジャカルタ）／シンガポール 中国（上海・香港・北京・海南省）／トルコ／インド／台湾</p>

(2) 中部国際空港利用促進協議会（中部国際空港）

事業内容	セントレアが、その機能を十分に発揮していく事が可能となるよう、地域が一体となって、セントレアの利用促進・活用等の取り組みを総合的に推進している。 主な事業は、セントレアの利用促進に関する取り組みに関する事、セントレアを活用した中部地方の発展に関する取り組みに関する事、前各号の取り組みに必要な調査研究、情報交換その他本協議会の目的達成のために必要とすることなど。
代表者	(代表理事) 名古屋商工会議所会頭 高橋治朗（名港海運（株）代表取締役会長） 社団法人中部経済連合会会長 三田敏雄（中部電力㈱代表取締役会長）
構成団体	43 団体
賛助会員	77 社
設立	2001 年 11 月 6 日
主な活動実績	<p>1. 地域・空港間連携事業</p> <p>① インバウンド促進事業 ・共同訪日旅客誘致促進事業 韓国や中国、タイなどのメディア招致事業やインドネシア訪日旅行誘致事業、香港の旅行会社招請事業など ・「訪日旅客向け中部観光プロモーションツール」の制作 ・国際交流イベント等への支援 「世界コスプレサミット」の開催、「アイアンマン 70.3 セントレア常滑ジャパン」の開催など</p> <p>② 空港利用喚起事業 ・セントレアキッズクラブ プレミアムイベントの開催 ・「セントレア出前社会見学」の開催</p> <p>2. 航空ネットワーク拡大事業</p> <p>① 「フライ・セントレア」事業 ・「フライ・セントレア ビジネス便利帳」の発行</p> <p>② 「フライ・セントレア・カーゴ」事業 ・セントレア発着便利用促進キャンペーン - 「新たな需要創造及びビジネスモデル構築プラン」の発表 - トラック共同輸送（物流連携効率化推進事業）の実施</p> <p>3. 広報宣伝事業 ・広報誌「あおぞら」の発行 ・協議会パンフレット（英語併記版）の発行</p>